au

AQUOS K

SHF32

取扱説明書

目次

安全上のご注意

基本操作

文字入力

電話

電話帳

メール

LINE

インターネット

カメラ

ワンセグ

端末設定

付録

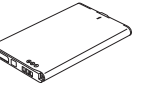
ごあいさつ

このたびは、「AQUOS K SHF32」(以下、「SHF32」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本体付属の『取扱説明書』『設定ガイド』またはauホームページより『取扱説明書 詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。本体付属の『取扱説明書』『設定ガイド』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体


電池パック
(SHF31UAA)

保証書

- 取扱説明書(本書)
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。
- 卓上ホルダ
- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSB-3.5φ変換ケーブル
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

操作説明について

■『取扱説明書』『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。本製品を初めて起動したときの初期設定の操作や充電などのご使用前の準備については、『設定ガイド』で説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、auホームページより『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual and Setting Guide from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

本製品をご利用いただくにあたって

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、『取扱説明書 詳細版』の「auのネットワークサービス・海外利用」をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 本製品は定期的にデータ通信を行い時刻など本製品の動作に必要な情報を取得します。データ通信料は別途かかります。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
  大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけてディスプレイを見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったりゆがんで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はメインディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているメインディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- サブディスプレイに長時間同じ画像を表示させていると残像が発生することがありますが故障ではありません。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

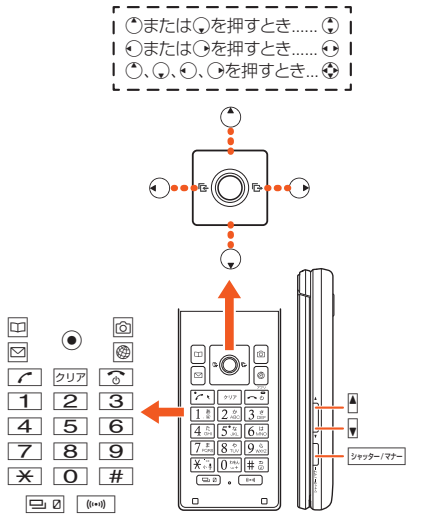
■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



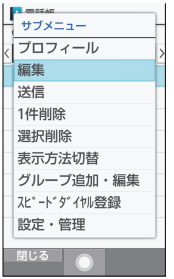
■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書で[ ]囲みしている箇所は、▲▼や◆でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して●(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を省略して表記しています。

例:電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で▭→編集する連絡先を選択→▭(サブメニュー)→[編集]

「編集」を▲▼で選択して、●で決定する操作を表しています。



◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.43)をご参照ください。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面　　本書の表記例

◎ 本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「アンバー」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。

◎ 画面最下行に表示された内容を●／▭／▭／▭／▭を押して実行する場合、▭(サブメニュー)のようにカッコ内に内容を表記します。

※ ただし、●(OK)／●(選択)／●(設定)／●(決定)／●(確定)の場合は省略して●のみ表記しています。

◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスおよび、災害情報を利用できるアプリです。

1 待受画面で◉→[サービス]→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。
利用規約画面や初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ 災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面に従って、登録/確認を行ってください。

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(@ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何にかかわらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

■緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

- お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の受信設定は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
  緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
  津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報** ・受信設定 緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 ・音量 受信音の音量を設定します。 ・マナー時の鳴動 マナーモード設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。 ・バイブ 受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
設定	**災害・避難情報** ・受信設定 災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 ・音量 受信音の音量を設定します。 ・マナー時の鳴動 マナーモード設定中に受信したとき、鳴動するかどうかを設定します。 ・バイブ 受信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。

◎ 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)、バイブレータの振動で通知します。
◎ 緊急速報メールを通話中に受信した場合は、警報音が鳴りません。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

■ 災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時に携帯電話で音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]
画面に従って操作してください。

■ 音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「あて先入力」※→「声を録音」の順で操作してください。
※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていない携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

◎ Wi-Fi®でのご利用には4G(LTE)ネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体メモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

■ 災害情報を利用する

災害に関する情報や、自治体が配信した災害・避難情報の履歴などを確認できます。

1 au災害対策メニュー→[災害関連情報]
確認したい項目を選択してください。

目次

ごあいさつ ii
同梱品一覧 ii
操作説明について 1
本製品をご利用いただくにあたって 1
マナーも携帯する 3
本書の表記方法について 3
au災害対策アプリを利用する 5
目次 9

安全上のご注意 11

安全上のご注意(必ずお守りください) 11
取り扱い上のお願い 20
ご利用いただく各種暗証番号について 23
各種暗証番号について 23
PINコードについて 24
防水性能に関するご注意 25
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い 29
Bluetooth®についてのお願い 29
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い 29
周波数帯について 29
パケット通信料についてのご注意 31
アプリケーションについて 31

基本操作 32

各部の名称と機能 32
タッチクルーザーEXを利用する 34
タッチクルーザーEXの操作について 35
待受画面を利用する 36
待受画面のショートカットを利用する 37
ステータスバーを利用する 37
アイコンについて 37
お知らせ／ステータスパネルを利用する 38
サブディスプレイを利用する 39
メインメニューを利用する 40
アプリについて 43
共通の操作を覚える 43
基本的なキー操作を覚えよう 43
チェックボックスを利用する 44

文字入力 45

文字入力の方法を覚える 45

電話 48

電話をかける 48
電話番号を入力して電話をかける 48
履歴を利用して電話をかける 49
スピードダイヤルで電話をかける 51
かんたん発信(音声認識)で電話をかける 51
au電話から海外へかける(au国際電話サービス) 52
電話を受ける 52
かかってきた電話に出る 52
着信を拒否する 53
かかってきた電話にSMSを送る 53
auのVoLTEサービスを利用する 53
ボイスパーティーを利用する(オプションサービス) 53
自分の電話番号を確認する 54
プロフィールを確認する 54
プロフィールを編集する 54

目次

電話帳 55

電話帳に登録する 55
電話帳の一覧を利用する 55
電話帳一覧画面を表示する 55
電話帳の登録内容を利用する 56

メール 57

Eメールを確認する 57
Eメールを送る 60
Eメールを受け取る 61
新着メールを問い合わせて受信する 62
SMSを送る 62
SMSを受け取る 63

LINE 64

LINEを利用する 64

インターネット 65

インターネットに接続する 65
パケット通信を利用する 65
ブラウザを利用する 66
ブラウザメニューを利用する 66
タッチクルーザーEXで操作する 66

カメラ 67

カメラをご利用になる前に 67
静止画／動画を撮影する 68

ワンセグ 70

ワンセグについて 70
テレビの初期設定をする 71
テレビ番組を見る 71
テレビ番組を視聴する 71

端末設定 73

設定メニューを表示する 73

付録 74

周辺機器のご紹介 74
スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する 75
故障とお考えになる前に 76
ソフトウェアを更新する 77
安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには 78
ケータイ探せて安心サービスを利用する 78
アフターサービスについて 78
SIMロック解除について 80
主な仕様 81
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 82
CE Declaration of Conformity 83
FCC Notice 84
輸出管理規制 85
知的財産権について 85

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	指示	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。漏液・発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ ロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。

禁止

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

充電端子、外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れた破片やディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。

水濡れ禁止

本製品または充電用機器(別売)が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
本製品は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱・焼損・火災・やけど・故障の原因となります。

水濡れ禁止

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が背面カバーの隙間などから本製品に入った場合には、使用しないでください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

禁止

使用中や充電中に、布や布団などでおおったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

指示

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災、故障の原因となります。

禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置いたり、不安定なままで充電をしないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。

禁止

本製品を長時間使用したり、外部電源と接続した状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本製品から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■本体について

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させたり、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。特に乳幼児に対しては、至近距離で撮影しないでください。視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がごくまれにいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■本体(SHF32)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(操作キーシート部)	PET	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(下側キー周囲部)	ガラス繊維入りポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(下側背面)	ガラス繊維入りPC+ABS樹脂	アクリル系塗装
外装ケース(メインディスプレイ枠部)	アクリル樹脂	ハードコート処理
外装ケース(メインディスプレイ背面)	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(メインディスプレイ側・ヒンジ側・先端部)	ガラス繊維入りポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
メインディスプレイ	アクリル樹脂	ハードコート処理
サブディスプレイ	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
ヒンジ部ストッパー	POM樹脂	なし
ヒンジ部カバー	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
ヒンジ部パネル	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化処理
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
カメラレンズ飾り	アルミ	染色アルマイト処理
モバイルライトレンズ	PC樹脂	なし
赤外線ポートカバー	アクリル樹脂	なし
センターキー	アクリル樹脂	なし
カーソルキー	アクリル樹脂	なし
キー飾り(カーソルキー、電話帳キーなど)	アクリル樹脂	なし
電話帳キー カメラキー メールキー ブラウザ／アプリキー	アクリル樹脂	なし
発信キー クリアキー 電源／終話キー ダイヤルキー	アクリル樹脂	なし
アプリ使用履歴キー テザリングキー	アクリル樹脂	なし
音量UP／DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
シャッター／マナーキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
充電端子	SUS	金メッキ

使用箇所	使用材質	表面処理
背面カバー	ガラス繊維入りPC樹脂+シリコン	アクリル系UV硬化処理
接続部	銅合金	金メッキ
当り部品	シリコン	なし
au Nano IC Card 04トレイ	POM樹脂	なし
磁性シート	フェライト(主に酸化鉄)	PETフィルム(ポリエチレンテレフタラート)
外部接続端子(外枠金属部)	SUS	錫メッキ
外部接続端子(端子補強板金属部)	SUS	錫メッキ
外部接続端子(端子樹脂部)	ポリアミド樹脂	なし
外部接続端子(端子接点部)	コルソン合金	金メッキ
ねじ	SUS	なし
ゴムパッキン	シリコンゴム	なし
背面カバークッション	発泡ウレタン	なし

■電池パック

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂+PET	なし
接続端子	銅合金	全面Ni下地メッキ、金メッキ

禁止 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止 microSDメモリカードスロットに液体、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

禁止 ストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

指示 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをする原因となることがあります。

禁止 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■電池パックについて

Li-ion00

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせないでください。

禁止

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となる場合があります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

指示

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
- 指定のACアダプタ(別売):AC100～240V
  海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 指定のDCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示

共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

禁止

指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電や回路のショートによる火災・故障・傷害の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら指定の充電器に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートによる火災・故障・傷害の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。火災・故障の原因となります。

水濡れ禁止

指定の充電用機器(別売)は防水性能を有していません。水やペットの尿など液体が直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。発熱・火災・感電・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。

濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。

禁止

ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

禁止

充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

禁止

卓上ホルダ(別売)を自動車内で使用しないでください。運転の妨げにより事故の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

プラグをコンセントから抜く

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、アダプタ本体を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、発熱・発火・感電・傷害の原因となる場合があります。

禁止

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

禁止

本製品から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電・傷害の原因となります。

■au Nano IC Card 04について

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

禁止

au Nano IC Card 04に損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

禁止

au Nano IC Card 04は、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

指示

au Nano IC Card 04は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、指定の背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままで背面カバーの取り付けや取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - SHF32本体
  - 電池パック（SHF32本体装着状態）
  - au Nano IC Card 04（SHF32本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 使用中、本製品が高温となった場合、本体保護のため一時的に画面の明るさを下げたり、一部機能を停止することがあります。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品のキー部分(タッチエリア)を指で触れることでタッチパッドのように操作できますが(タッチクルーザーEX)、以下の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シールなどを貼っての操作
  - 水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシール内に表示された「技適マーク㊣」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品の銘板シールに表示されております。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。

- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 背面カバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、おサイフケータイ®の読み書きができなくなる場合があります。
- 受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品の開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■有機ELディスプレイについて

- 本製品はサブディスプレイ部に有機ELディスプレイを採用しています。有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちる場合がありますが、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本製品から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。
  これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■au Nano IC Card 04について

- au Nano IC Card 04の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card 04を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Nano IC Card 04にシールなどを貼らないでください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■セキュリティキー（暗証番号／パスワード）

使用例	音声発信制限などの設定／解除やおサイフケータイ®をロックする場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
  「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

防水性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水性能に関するご注意」の内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

■ 本製品の防水性能

本製品は背面カバーを確実に取り付けた状態で、保護等級(JIS C 0920)IPX5相当※1、IPX7相当※2の防水性能を有しております(当社試験方法による)。
また、防塵性能は有しておりません。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

■ 本製品が有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間あたり20mm未満の雨量)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使って本製品を洗うことができます。

■ 本製品のお取り扱いについて

- 背面カバーを確実に取り付けてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛、砂粒、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。
- 背面カバーを取り外している状態で水などの液体がかかった場合、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 手や本製品が濡れているときには、背面カバーの取り付け/取り外しは絶対にしないでください。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- 外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、火災・やけど・故障の原因となります。

■ 使用時のご注意

- 本製品に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - 海水、プールの水
  - 温泉、熱湯など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ほこり、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃～35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む。)
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。

- コンロのわきや冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 受話口、送話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- 落下させるなど本製品に強い衝撃を与えたり、受話口、送話口、スピーカーなどをとがったもので つつかないでください。本製品が変形したり、傷が発生したりすることなどにより、防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなるおそれがあります。
- 電池パック、卓上ホルダ(別売)やオプション品は、防水対応していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 背面カバーに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。このときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 防水性能を維持するために

■ 防水パッキンについて

背面カバーの防水パッキンは、防水性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
- 背面カバーを取り付けるときは、防水パッキンを挟まないように注意してください。また、背面カバーの隙間や外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
  ゴムパッキンが傷付き、浸水の原因となることがあります。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

電池パック、卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ(別売)に差し込んだり、外部接続端子にmicroUSBプラグを差し込んでください。
- 本製品や卓上ホルダ(別売)、充電用機器(別売)が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。
  本製品は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本製品やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱・焼損・火災・やけど・故障の原因となります。
- 濡れた手で卓上ホルダ(別売)や指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダ(別売)、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル／分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。

背面カバーに隙間が開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- 背面カバーがきちんと取り付けられていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- 外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、火災・やけど・故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本製品の変形・変色・故障などの原因となります。

■ 水抜きのしかた

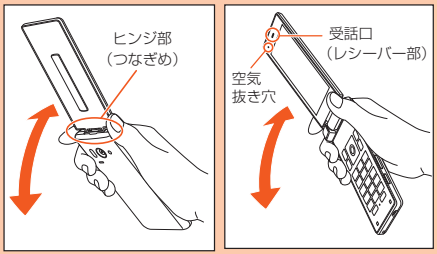
水に濡れた後は、必ず「外部接続端子部」「受話口(レシーバー部)」「送話口(マイク部)」「スピーカー部」「キー部」「ヒンジ部(つなぎめ)」「空気抜き穴」などの水抜きを行ってください。

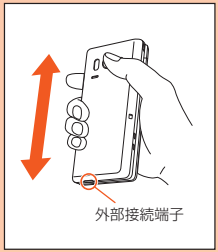
1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

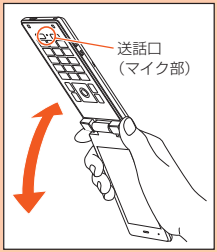
ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

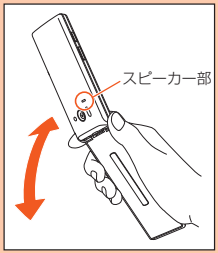
2 本製品のヒンジ部(つなぎめ)をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかり握って振ってください。



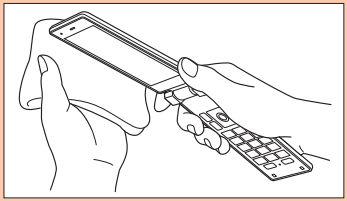






3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■水抜き後のご注意

水滴が付着したままで使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- 外部接続端子などがショートし、火災・故障の原因となることがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。
本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能で使用している周波数帯は、電池パックを取り外した下のシールに記載されています。

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN(Wi-Fi®)で使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■2.4GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は、2.4GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

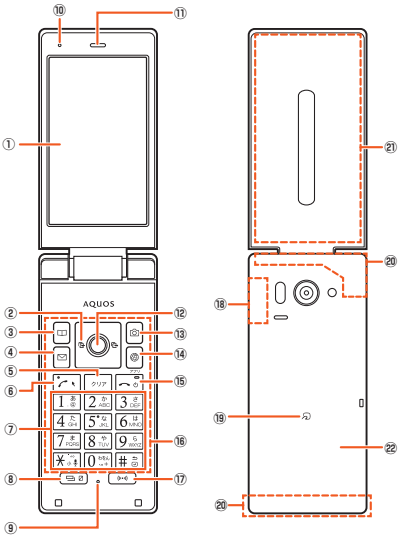
- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
  ※無線LAN（Wi-Fi®）の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのダウンロードについてはau IDを設定のうえ、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については『設定ガイド』をご参照ください。
  本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』『設定ガイド』『取扱説明書 詳細版』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

各部の名称と機能

■ 前面／背面



① メインディスプレイ
② カーソルキー
　左キー／着信履歴
　右キー／発信履歴
　上キー
　下キー
③ 電話帳キー
④ メールキー
⑤ クリアキー
⑥ 発信キー
⑦ 0～9、＊、＃ダイヤルキー
⑧ アプリ使用履歴キー
　起動中アプリ一覧画面を表示します。また、長押しすると、のぞき見防止を設定／解除できます。
⑨ 送話口（マイク）
　通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などでおおわないようにご注意ください。
⑩ 空気抜き穴
　性能を保つための穴です。
⑪ 受話口（レシーバー）
　通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
⑫ センターキー
⑬ カメラキー
⑭ ブラウザ／アプリキー
　ブラウザメニューを表示します。また、長押しするとアプリ一覧を表示します。
⑮ 電源／終話キー
　操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源メニューを表示させて電源を切る／再起動などの操作ができます。

⑯ **タッチエリア(タッチクルーザーEX)**
本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。(▶P.34)

⑰ **テザリングキー**

⑱ **Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ**

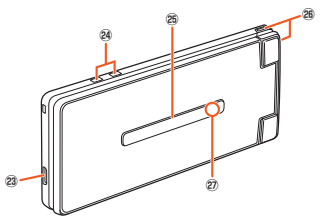
⑲ **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

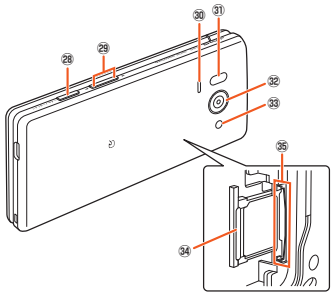
⑳ **内蔵アンテナ**
通話時、インターネット利用時、4G(LTE)利用時に使用します。

㉑ **テレビアンテナ**
テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナを内蔵しています。

㉒ **背面カバー**

■ 折りたたみ時(前面／背面／側面)





㉓ **外部接続端子**
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、周辺機器接続用USBケーブル(市販品)などの接続時に使用します。
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などを接続すると、接続機器の磁気が地磁気センサーに影響し、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。

㉔ **充電端子**
卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。

㉕ **サブディスプレイ**
着信時、メール受信時、アラーム鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉖ **ストラップ取付部**

㉗ **充電／着信ランプ**
充電中は電池残量によって赤色／緑色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

㉘ シャッター/マナー **シャッター／マナーキー**

㉙ 音量UP／DOWNキー
音量を調節します。
本製品が閉じているときに音量UPを長押しすると、モバイルライトが点灯します。
㉚ スピーカー
着信音やアラーム音などが聞こえます。
㉛ 赤外線ポート
赤外線通信で、データの送受信を行います。
㉜ カメラ（レンズ部）
㉝ モバイルライト
㉞ au Nano IC Card 04トレイ／スロット
㉟ microSDカードスロット

内蔵アンテナ、Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナおよびテレビアンテナについて
◎ アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなることがあります。

受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、空気抜き穴について
◎ 受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、空気抜き穴をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。

IMEIについて
◎ IMEI（端末識別番号）は端末1台ずつに割り当てられた固有の識別番号です。電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールで本製品のIMEIを確認できます。
◎ IMEIは修理依頼やアフターサービスなどで必要な情報ですので、IMEIの印刷されたシールは、はがさないでください。

タッチクルーザーEXを利用する

本製品のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます（タッチクルーザーEX）。タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になり、画面に表示されるポインタを操作できるようになります。

1 タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動

タッチクルーザーEXが有効になり「↖」（ポインタ）が表示されます。

- タッチクルーザーEXの操作説明画面が表示された場合は、◉（OK）と操作してください。「今後表示しない」にチェックマークを入れて◉（OK）と操作すると、次回以降の起動時に操作説明画面を表示しないようにできます。
- [↗]を長押しするごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えられます。タッチクルーザーEXを無効にしたまま機能／アプリを終了すると、再度タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを起動してもタッチクルーザーEXは有効になりません。
- タッチクルーザーEXに対応した機能／アプリを終了するとタッチクルーザーEXは無効になります。
- タッチクルーザーEXが有効の場合でも、キー操作は可能です（一部のアプリを除く）。

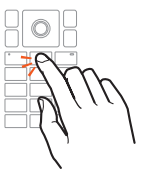
タッチクルーザーEXの操作について

ブラウザやLINEなどを操作するときに画面上のポインタをマウスのように操作できます。

■ タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- ポインタが重なっている項目やアイコンを選択します。静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。



■ ロングタッチ

タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。「▶」の表示が「✥」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「▶」に戻ります。

- メニューの表示などを行います。

■ スライド

タッチエリアをロングタッチして「▶」を「✥」にします。
タッチエリアに指を軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。

■ フリック

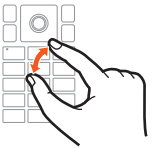
タッチエリアをロングタッチして「▶」を「✥」にします。
タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。

- 目的の方向へはらって画面のすばやいスクロールやページの切り替えなどを行います。

■ ピンチ

2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- ブラウザなどで画面を拡大／縮小します。拡大／縮小の操作は画面に表示されているポインタを起点に行われます。あらかじめ拡大／縮小したい位置にポインタを移動してから操作してください。



◎ タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
◎ 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- シールなどを貼っての操作
- 水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた

《待受画面》

① **ステータスバー**
② **検索**
③ **カレンダー**
④ **通知アイコン**
不在着信通知や未読のEメール／SMS、お知らせ通知が表示されます。
⑤ **かんたん発信アイコン**
表示中はかんたん発信(音声認識)で電話をかけることができます。(▶P.51)
⑥ **時計**

待受画面のショートカットを利用する

待受画面に表示されたカレンダー、通知アイコンをショートカットとして利用できます。

1 待受画面で◉→項目を選択→◉

・通知アイコンを選択すると通知内容が吹き出しで表示されます。

ステータスバーを利用する

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	ワンセグの電波の強さ ～：レベル表示
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	通話保留中
	伝言メモあり
	本体メモリの空き容量低下
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり

◎ アイコンによっては件数が重なって表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
～ 	電池レベル状態 ～：残量表示　：残量なし ・充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。
	機内モード設定中
～ 	電波の強さ(受信電界) ～：レベル表示　：圏外 ・ネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 ：4G(LTE)使用可能　：ローミング中 ・通信中は🔗が重なって表示されます。
あ AB 12 カナ A 1 カ 区	文字種 あ：漢字入力　AB：半角英字入力　12：半角数字入力 カナ：半角カタカナ入力　A：全角英字入力　1：全角数字入力 カ：全角カタカナ入力　区：区点コード入力
 	マナーモード状態 ：通常マナー　：ドライブマナー ：サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	着信音量を「サイレント」に設定中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中
～	Wi-Fi®の電波の強さ ～：レベル表示 ・通信中は🔗が重なって表示されます。
 	伝言メモ設定中 ：伝言メモなし　：伝言メモあり(1～9件) ：伝言メモがいっぱい(10件)

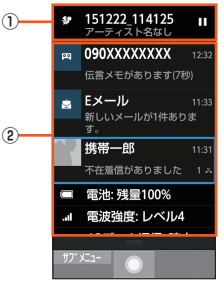
お知らせ／ステータスパネルを利用する

お知らせ／ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードを設定している場合は、モードの変更や伝言メモの確認ができます。

1 待受画面で↕→ステータスバーを選択→●

2 お知らせを選択→●
お知らせ内容に対応するアプリケーションが起動されます。

■ お知らせ／ステータスパネルの見かた



《お知らせ／ステータスパネル》

① **ミュージックコントローラ**
LISMOで音楽再生時に表示されます。停止操作のみ行えます。

② **お知らせエリア**
本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。

■ お知らせを操作する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で操作したいお知らせを選択→▣(操作)
お知らせの内容にあった操作項目が表示されます。

2 操作項目を選択→●
お知らせに対応したアプリケーションを起動したりできます。

■ お知らせを1件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で削除したいお知らせを選択→▣(サブメニュー)→[通知1件消去]→●

■ お知らせを全件削除する

1 お知らせ／ステータスパネル画面で▣(サブメニュー)→[通知全件消去]→●

- 電池残量表示や電波強度表示など、削除ができない通知もあります。

サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの端末の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。
▲／▼／シャッター/マナーを押すと表示の切り替えができます。

■ サブディスプレイの見かた

《時計表示画面》 《アイコン+時計画面》 《アイコン+時計+月日曜日画面》

■ 主なアイコン

アイコン	概要
	電波の強さ(受信電界) 強／中／弱／微弱／圏外 ※機内モード設定時には表示されません。
～	電池レベル表示 ～:残量表示 :残量なし • 充電中は電池マークに⚡が重なって表示されます。
	不在着信 • 着信件数が表示されます。
	:新着メール(Eメール／SMS) • 新着件数が表示されます。 :緊急速報メール
	マナーモード状態 :通常マナー :ドライブマナー :サイレントマナー

アイコン	概要
	伝言メモ設定中 • 未確認の伝言メモ件数が表示されます。
	画面ロック設定中
	機内モード設定中

■ 各種情報表示

状態		表示
音声着信中	着信相手を表示する(電話帳登録あり)	登録名
	着信相手を表示する(電話帳登録なし)	電話番号
	着信相手を表示しない	「着信中」
	伝言メモ	応答中:「伝言メモガイダンス中」 録音中:「伝言メモ録音中」
通話中	通話中	「通話中」
	音声メモ	「音声メモ録音中」
	音量変更	音量変更画面
メール受信中	着信相手を表示する(電話帳登録あり)	登録名
	着信相手を表示する(電話帳登録なし)	メールアドレス 差出人名称
	着信相手を表示しない	「メール受信」
SMS受信中	着信相手を表示する(電話帳登録あり)	登録名
	着信相手を表示する(電話帳登録なし)	電話番号
	着信相手を表示しない	「メッセージ受信」
アラーム	アラーム鳴動時	アラーム時刻、アラーム名
	スヌーズ作動中	「スヌーズ中」

状態		表示
緊急速報		「緊急速報」
マナーモード	設定時:通常マナー	「通常マナーを設定しました」
	設定時:ドライブマナー	「ドライブマナーを設定しました」
	設定時:サイレントマナー	「サイレントマナーを設定しました」
	解除時:通常マナー	「通常マナーを解除しました」
	解除時:ドライブマナー	「ドライブマナーを解除しました」
	解除時:サイレントマナー	「サイレントマナーを解除しました」
ミュージック再生中	音量変更	音量変更画面
LINEアプリ通知中		LINEアプリから通知されるメッセージが表示されます。

メインメニューを利用する

メインメニューでは、アプリケーションがメニューごとに表示されます。メニューを選択してから項目を選択すると、アプリケーションを起動できます。

1 待受画面で●
メインメニューが表示されます。

2 メニューを選択→●
メニューはダイヤルキー([0]～[9]、[*]、[#])に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

3 アプリケーションを選択→●

■ メインメニューの見かた

《メインメニュー》

■ メインメニュー一覧

メニュー	概要
auスマートパス	auスマートパスは、最新ニュースや占い、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼントなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけるサービスです。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.66)
au WALLET	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、携帯電話に最適化した画面でご利用いただけます。
カメラ	静止画／動画を撮影できます。(▶P.68)
データフォルダ	撮影した静止画／動画、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.64)
アプリ※	
au ID 設定	au IDを設定します。
auナビウォーク	
LISMO	
au Wi-Fi接続ツール	
GLOBAL PASSPORT	
リモートサポート	
安心アクセス for 4G LTE ケータイ	
auバックアップアプリ	
au災害対策	
OfficeSuite	パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのファイルを表示することに対応したアプリケーションです。 対象ファイルを閲覧したいときに、手軽に利用することができます。

メニュー	概要
ツール	
アラーム	アラームを利用できます。
タイマー	タイマーを利用できます。
カレンダー	カレンダーを利用できます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
電卓	電卓を利用できます。
PASSNOW	対応するタブレット等とペア設定をすることで、本製品で撮影した写真や動画をタブレットで楽しんだり、本製品やタブレットに届いた通知をお互いに確認することができます。
TV(ワンセグ)	モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを見ることができます。(▶P.71)
赤外線	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。
タッチクルーザーEX操作ガイド	タッチクルーザーEXの操作方法を表示します。(▶P.34)
ウィジェットシート	ウィジェットを貼り付けて利用できます。
グローバル機能	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBEなどの無線LAN(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。
ストップウォッチ	ストップウォッチを利用できます。
世界時計	世界時計を利用できます。

メニュー	概要
サービス	
auお客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。ご利用料金の確認や各種変更手続きなどができます。
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。
auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用できます。(▶P.5)
リモートサポート	携帯電話の操作で困ったとき、お客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
安心アクセス	お子さまが携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
auバックアップアプリ	お客様のau端末に保存しているさまざまなデータをmicroSDメモリカードにバックアップ／復元できるアプリです。 自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。
メーカーサービス(SHSHOW)	コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。

メニュー	概要
電話・メール	
着信／発信履歴	着信や発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.49)
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.55)
通話設定	通話に関する設定をします。
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.51)
ボイスパーティー	最大30人で同時に通話ができます。(▶P.53)
Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.60)
SMS	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.62)
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.54)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.73)

※追加でダウンロードしたアプリは「ダウンロード」(▶P.43)に表示されます。

◎ アプリケーションを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
◎ 本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリについて

「アプリ」では本製品をお買い上げ時にインストール済みのアプリと追加でダウンロードしたアプリケーションを使用できます。

1 待受画面で●→[アプリ]
アプリ一覧画面が表示されます。

■ タブを切り替える

1 アプリ一覧画面で◁▷
「プリセット」/「ダウンロード」タブが切り替わります。

■ アプリを検索する

1 アプリ一覧画面で[画像](アプリ検索)
auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、ダウンロードしてください。

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の最下行に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。

①「完了」は、●を押します。
②「サブメニュー」は、[画像]を押します。
③「あA1」は、[画像]を押します。
④「絵・記・顔」は、[画像]を押します。
⑤「範囲選択」は、[画像]を押します。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、▲▼や◆で項目を選択して●を押します。
メニューに0～9、*、#などが表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- ▶を押しても、項目を選択できる場合があります。

■ 1つ前の画面に戻るには

クリアを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。
- ◀／戻る／メールを押しても、戻ることができる場合があります。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、ホームを押します。
- 一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- 通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れることがあります。
- 操作中の機能やアプリケーションが終了します。

■ 数字を入力するには

0～9を押すと、数字を入力できます。
数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、▲▼を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、▼を押すと次のデータへ、▲を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データー覧画面（リスト表示）などでは、▲を押すと上に、▼を押すと下にページスクロールできます。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	.@／＿—:～1	1
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	アイウエオァィゥェォ	.@/_-:~1	1
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
2	かきくけこ	ａｂｃＡＢＣ２	2
	カキクケコ	abcABC2※	2
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
3	さしすせそ	ｄｅｆＤＥＦ３	3
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	サシスセソ	defDEF3※	3
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
4	たちつてとっ	ｇｈｉＧＨＩ４	4
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	タチツテトッ	ghiGHI4※	4
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
5	なにぬねの	ｊｋｌＪＫＬ５	5
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	ナニヌネノ	jklJKL5※	5
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
6	はひふへほ	ｍｎｏＭＮＯ６	6
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	ハヒフヘホ	mnoMNO6※	6
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
7	まみむめも	ｐｑｒｓＰＱＲＳ７	7
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	マミムメモ	pqrsPQRS7※	7
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
8	やゆよゃゅょ	ｔｕｖＴＵＶ８	8
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	ヤユヨャュョ	tuvTUV8※	8
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
9	らりるれろ	ｗｘｙｚＷＸＹＺ９	9
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	ラリルレロ	wxyzWXYZ9※	9
文字種	漢字	英字(全角)	数字(全角/半角)
0	わをんゎー～、。？！・空白(ｽﾍﾟｰｽ)	０－空白(ｽﾍﾟｰｽ)	0
	カナ(全角／半角)	英字(半角)	ダイヤル入力
	全角 ワヲンヮー～ / 半角 ﾜｦﾝｰ	0- 空白(ｽﾍﾟｰｽ)!"#$%&'()*+,./:;<=>?@[¥]^_`{|}~	0

※行頭に入力する場合は大文字が先に表示されます。

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
✳	短押し....小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) ゛(濁点)や゜(半濁点)を付加(可能な文字のみ) 、。？！・ 空白(ｽﾍﾟｰｽ)		短押し...小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) **全角** ．，？！’ ー＆（）　¥ 空白(ｽﾍﾟｰｽ) **半角** .,?!'-&()¥ 空白(ｽﾍﾟｰｽ)	短押し....(小数点)	✳
	長押し....直近でコピー／切り取りした文字列を貼り付け				

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字入力中ではない場合は、改行			改行	#

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
⊡	サブメニューから機能引用、定型文などの呼び出し 全角／半角記号一覧の切り替え 顔文字編集画面を表示(顔文字一覧画面で履歴以外のカテゴリを表示中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲縮小(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 範囲選択のキャンセル				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
⊙	絵文字→D絵文字→全角記号(半角記号)→顔文字の一覧を表示 (D絵文字はEメール本文入力時のみ) 予測変換候補と通常変換候補の切り替え(予測変換を「ON」に設定時、文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 通常変換時、文節範囲拡大(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 選択範囲の全選択(範囲選択中の場合のみ)				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
✉	文字種の切り替え カナ英数変換(文字種が「漢字」で文字入力中の場合のみ) 文字種を「漢字」に変更(文字種が「漢字」「英字(半角)」「数字(半角)」)以外の場合のみ) ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
◎	範囲選択を開始 ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／記号／顔文字／変換候補選択中の場合のみ)				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小,全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
↶	文字を確定直前の状態に戻す 削除した文字の復帰(連続5回分まで) 学習した変換候補を削除／ブラウザで変換候補を検索／他のアプリで変換候補を検索して引用(文字種が「漢字」および「英字(大／小、半角)」で変換候補選択中の場合のみ)				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小 ＊＊(ワイルドカード)入力の「＊」を1文字削除				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 未確定文字入力中に＊＊(ワイルドカード)入力の「＊」を1文字入力(文字種が「漢字」および「英字(大／小、半角)」で予測変換を「ON」に設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角の空白(スペース)を入力				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
	カーソルの上移動 変換候補の選択				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				－

文字種	漢字	カナ(全角／半角)	英字(大／小全角／半角)	数字(全角／半角)	ダイヤル入力
クリア	短押し.....カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除 変換の中止(文字入力画面に戻る)				短押し....1桁削除
	長押し....カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				長押し....すべて削除

◎ 文字入力時は待受画面で◉→[設定]→[その他]→[文字入力]の「キーボードと入力方法」で「SH文字入力」が選択されていることをご確認ください。Androidキーボード(AOSP)は日本語入力に対応しておらず、文字が入力できないことがあります。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

- 待受画面で[ ]を押すと電話番号未入力状態のダイヤル画面を表示できます。

○:カーソルの位置を移動
クリア:カーソルの左側の数字を削除
クリア(長押し):すべての数字を削除
(電話帳):電話帳を表示(▶P.55)
[ ]:前回発信した番号に再度発信(リダイヤル)※
※電話番号未入力時のみ利用できます。

2 [ ]→通話

●(スピーカー/OFF):ハンズフリー通話ON/OFF
(ミュート/ミュート解除):ミュートON/OFF
(電話帳):電話帳を表示(▶P.55)
(プロフィール):プロフィールを表示(▶P.54)
○/音量キー:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節
[ ](保留):通話を保留※
※●(停止)/[ ](保留解除)を押すと保留を解除できます。

3 [ ]

「電話帳に登録」を選択すると、発信した電話番号を電話帳に登録できます。

- 本製品を閉じても通話を終了できます。

◎「電卓」/「タイマー」/「スケジュール」(カレンダー)/「アラーム」などの機能でダイヤル画面で入力した数字を引用することもできます。数字入力後に画面の表示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。

◎「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎ 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)、お客さまセンター(157)へは電話をかけることができます。
◎ 通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。
◎ 通話中に他のアプリケーションを起動したとき、通話中画面に戻りたい場合はクリアを押して起動中のアプリを終了してください。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

■P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 銀行の電話番号「030001XXXX」を入力

2 ●(発信等)→[特番付加]→[P付加]→店番号「22X」を入力

3 ●(発信等)→[特番付加]→[P付加]→口座番号「123XX」を入力

P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

4 ☎→[はい]→[はい]

発信すると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択して●を押すごとにプッシュ信号を送信します。

■履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で▷(発信履歴)／◁(着信履歴)

○を押すと、発信履歴／着信履歴を切り替えられます。

2 履歴から電話をかける相手を選択→●

発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

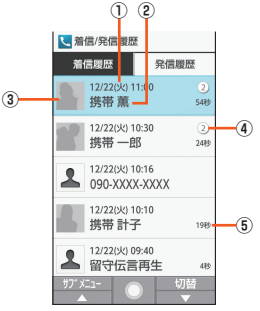
- 発着信回数が表示されている履歴を選択して回(切替)を押すと、まとめられている発信履歴／着信履歴の情報を表示します。

3 ☎

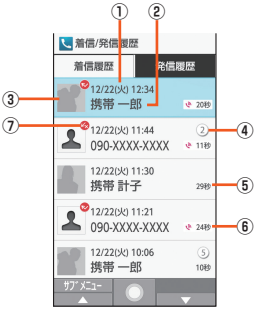
発信履歴／着信履歴一覧画面で電話をかける相手を選択して☎を押しても発信できます。

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 発信履歴／着信履歴一覧画面の見かた



《発信履歴一覧画面》



《着信履歴一覧画面》

① **発着信日時**

② **名前／電話番号／非通知着信の理由／ネットワークサービスの内容**

③ **電話帳に登録している顔写真**

④ **発着信回数**
同じ相手の発信履歴／着信履歴が連続した場合は着信／発信回数を表示します。

⑤ **通話時間**

⑥ **呼び出し時間**

⑦ **着信状態アイコン**
：不在着信
：不在着信（ワン切り※）
：着信拒否

※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。

■ スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で◉→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の＜未登録＞を選択→◉(登録)

- 連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→◉(決定)

■ スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力

2 [↶]

◎ 未登録のスピードダイヤル番号を入力して[↶]を押した場合は、スピードダイヤルの一覧画面が表示されます。スピードダイヤルの一覧から発信したり、新規にスピードダイヤルを登録できます。
◎ スピードダイヤルに登録された連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、スピードダイヤルの番号を入力して✉(メール)を押すとメールの作成ができます。

かんたん発信(音声認識)で電話をかける

かんたん発信(音声認識)を利用すると、スピードダイヤルに登録した連絡先にダイヤルキーを操作せずに音声で電話をかけることができます。

- スピードダイヤルへの登録方法は「スピードダイヤルに登録する」(▶P.51)をご参照ください。

1 本製品を開く／待受画面で[✕](長押し)

メインディスプレイに❗が表示されます。

- 「画面のロック」を設定している場合は、ロックの解除後に待受画面で[✕](長押し)と操作してください。

2 本製品に向かって電話したい宛先を話す

電話したい連絡先の名前に続けて「電話」や「発信」と話します。
例:○○○さんに電話、△△△さんに発信

3 表示された連絡先を確認→[はい]

◎ 電話帳の連絡先に複数の電話番号を保存している場合や同一の名前を複数登録している場合は正しく動作しないことがあります。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力
ダイヤル画面で0（長押し）と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→発信

◎ 電話番号の入力中に回（サブメニュー）→［特番付加］→［国際電話］と操作しても国番号を入力できます。
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から**0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

かかってきた電話に出る

1 着信中に発信／●（応答）
回（サイレント）を押すと、着信音を止めます。
音量や▲▼を押すと着信音量を変更できます。

2 通話→電源

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルネットワーク」の「データ通信」を無効にし、「ネットワークモード」を「日本（4G）」に設定してご利用ください。
◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

着信を拒否する

1 着信中に㊙(着信拒否)

着信音が止まって電話が切れます。相手の方は「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

かかってきた電話にSMSを送る

1 着信中に▭(サブメニュー)→[クイック返信]

2 送信するメッセージを選択→●

かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

◎ 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」を選択すると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
◎ 送信するメッセージを、あらかじめ「通話設定」の「クイック返信」で編集できます。
◎ 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
◎ SMSを送信するまでの間は、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に伝言メモが応答する場合があります。

auのVoLTEサービスを利用する

ボイスパーティーを利用する(オプションサービス)

ボイスパーティーとは、通話したい相手の端末の種類にかかわらず、発信者を含めて最大30人で同時に通話が可能な音声サービスです。

1 待受画面で↗→▭(サブメニュー)→[ボイスパーティー]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 ㊙(新規作成)

発信履歴を選択→●と操作すると、履歴を利用して発信することができます。

3 ▭(サブメニュー)

4

電話帳引用	電話帳の電話番号をメンバーに追加します。
履歴引用	発信履歴／着信履歴の電話番号をメンバーに追加します。
直接入力	電話番号を直接入力してメンバーに追加します。

5 ㊙(発信)→通話

呼出中／通話中のメンバーを選択→●→[はい]と操作すると、選択したメンバーとの通話を終了します。
不在のメンバーを選択→●と操作すると、発信／メンバーの削除が行えます。

6 ☎

◎ ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。
◎ 発信者には通話先に応じた通話料(人数分)が課金されます。

◎ 発信先として、緊急通報番号(110、119、118)や時報(117)などの特番は対象外です。
◎ ボイスパーティーで発信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
◎ 発信後、いずれの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーを終了します。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時にご利用できません。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中、割込着信をご利用できません。
◎ 発信者・着信者はボイスパーティー中にプッシュ信号を送信できません。
◎ 着信者がお留守番サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加できません。
◎ auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモは応答しません。
◎ 着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する

1 待受画面で●→[プロフィール]

プロフィールを編集する

1 待受画面で●→[プロフィール]→[編集]
プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [保存]

◎ プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.55)をご参照ください。

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面で[電話帳](長押し)
電話帳登録画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

3 [○](保存)

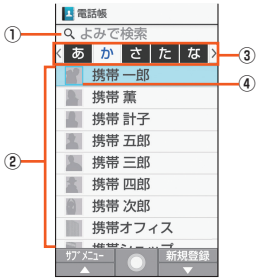
◎ 電話帳一覧画面(▶P.55)で[○](新規登録)を押しても電話帳を新規登録できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「位置情報」を「ON」に設定する必要があります。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は動作しません。
◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で[電話帳]
電話帳一覧画面の表示方法が「グループ」の場合はグループ一覧画面が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

① **ダイヤルキーで検索**
電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、よみがなを入力して連絡先を検索できます。[クリア]キーを押してよみがなを削除すると検索を解除します。

② **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③ **タブ**

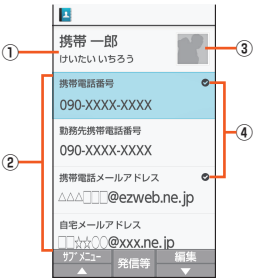
④ **顔写真**
登録している場合は、顔写真が表示されます。

◎ ⚇を押してタブを切り替えられます。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で📖→連絡先を選択→●

■ 電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

① **名前**
② **登録内容**
③ **顔写真**
④ **メインの電話番号／メインのメールアドレス**

◎ 登録内容を選択して●を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
◎ 複数の電話番号やメールアドレスを登録しているときは、電話番号／メールアドレスを選択して●→[メインの電話番号に設定]／[メインのアドレスに設定]と操作すると、メインの電話番号／メールアドレスに設定できます。
◎ 回(編集)を押すと、登録内容を編集できます。

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で✉
フォルダー覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス]／[送信ボックス]／[未送信ボックス]／フォルダを選択→●
Eメール一覧画面が表示されます。
- ◎(2行3行切替):メール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→●
Eメール詳細表示画面が表示されます。
- ✉(前):前のEメールを表示
- ◎(次):次のEメールを表示

◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダー覧画面の見かた

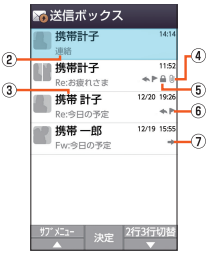
フォルダー覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。
- 「受信ボックス」に新着メールがある場合は❶(赤色、数字は件数)が表示されます。受信メール一覧画面で新着メールを確認すると❶(青色、数字は未読件数)が表示されます。未読メールがない場合は、アイコンは表示されません。
- 「未送信ボックス」にEメールがある場合は、❶(青色、数字は件数)が表示されます。送信に失敗したEメールがある場合は、アイコンが赤色で表示されます。

《フォルダー覧画面》

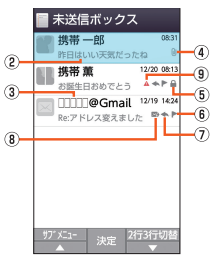
① **新規作成**
② **受信ボックス**
③ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
④ **送信ボックス**
⑤ **未送信ボックス**
⑥ **フォルダ**
⑦ **フォルダ作成**
⑧ **未読・未送信メール件数**

■Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》

《フォルダメール一覧画面》

① ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール

② 件名

③ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
電話帳に登録があるEメールアドレスの場合には、登録された画像／名前が表示されます。未登録のEメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
- 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

④ 添付データあり

⑤ 保護されたEメール

⑥ フラグ付きEメール

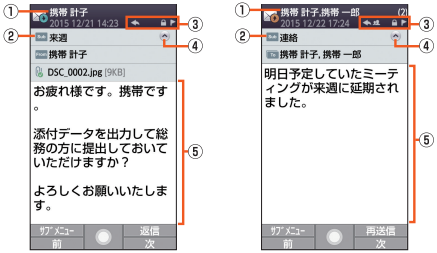
⑦ ：返信したEメール／返信のEメール
：転送したEメール／転送のEメール
：返信／転送したEメール

⑧ 自動再送信するEメール

⑨ サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したEメール

⑩ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》　《送信メール詳細表示画面》

① 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

② 件名

③ :返信したEメール／返信のEメール
:転送したEメール／転送のEメール
:返信／転送したEメール
:複数の宛先あり
BCC:BCCの宛先で受信したEメール
:自動再送信するEメール
:送信に失敗したEメール
:保護されたEメール
:フラグ付きEメール

④ :アドレス／添付ファイル
選択して●と操作すると、Eメールアドレスと添付データの一覧を表示します。
From:差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC／BCC:宛先の名前またはEメールアドレス
:保存された添付データ
:保存に失敗した添付データ
:保存されたインライン添付データ
:未受信の添付データ
:受信に失敗した添付データ

⑤ 本文

Eメールを送る

1 待受画面で✉→[新規作成]
送信メール作成画面が表示されます。

2 アドレス入力欄の「👤」を選択→●
アドレス入力欄に宛先を直接入力することもできます。

3 ※メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをauスマートパスからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 • 🖃(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●(選択)→🗑(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 • 🖃(履歴削除)→Eメールアドレスを選択→●(選択)→🗑(削除)→[削除]と選択すると履歴を削除できます。
プロフィール引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け	コピーしたEメールアドレスを貼り付けます。

4 件名入力欄を選択→●→件名を入力→●(完了)

5 本文入力欄を選択→●→本文を入力→●(完了)

6 🗑(送信)

◎ 送信メール作成画面で「保存」を選択すると、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号(ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。・「」)は入力できません。
◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ 「送信時確認表示」で送信時の確認画面を非表示にすることができます。
◎ あらかじめ「自動再送信」を有効にしておくと、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。
◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※ 一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

■ 宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の「⊕」を選択→●

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄に宛先を直接入力しても、宛先を追加できます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先の「×」を選択→●→[削除]

◎「To」を選択→●と操作すると、宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーに✉が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 充電／着信ランプが青色に点滅します。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに✉が表示されます。

2 待受画面で✉→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→●

Eメール詳細画面が表示されます。

◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに✉が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」を無効に設定した場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」を無効に設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り✉が表示されます。「新着問合せ」を行い、Eメールを受信してください。
◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 待受画面で✉

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 ◎(新着問合せ)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 待受画面で✉(長押し)

待受画面で✉→✉(SMS切替)と操作しても表示できます。
相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 ◎(新規作成)

SMS作成画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手の方にSMSを送信するときは、スレッドを選択してもSMSを作成できます。その場合は、操作 4 へ進みます。

3 宛先入力欄を選択→相手先電話番号を入力

[●]→連絡先から相手先を選択することもできます。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先入力欄を選択して「010」と「国番号」を入力してください。
※相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

4 本文入力欄を選択→本文を入力→●(完了)

本文は、全角70／半角160文字相当まで入力できます。

5 ◎(送信)

送信したメッセージを選択→✉(サブメニュー)→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

◎ 操作5の前にクリアを押すと、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
◎ SMSセンターでは72時間までSMSをお預かり（蓄積）します。蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数に制限はありません。
◎ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。
- SMS蓄積後すぐに配信：新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
- リトライ機能による配信：相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
- 通話を終了したときに配信：蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ SMS送信時は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに⚠が表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受け取る

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
- 待受画面に新着SMSのアイコン、ステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに✉が表示されます。
- 充電／着信ランプが点滅します。

2 待受画面で✉（長押し）

SMSのスレッド一覧画面が表示されます。
未読のSMSがあるスレッドにはNEWが表示されます。

3 確認する相手先のスレッドを選択

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[その他]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 待受画面で◉→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。
初回起動時には利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.34)をご参照ください。

◎ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。
◎「ユーザー補助」の「Key Translator」をOFFに変更すると、LINE上でキーのフォーカス表示がされなくなります。「ユーザー補助」については設定を変更せずにご利用ください。

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で◉→[設定]→[通信・ネットワーク]→[ネットワーク設定]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。

◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードや通信を行うアプリケーションなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ブラウザでWebページを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.34)をご参照ください。
- はじめてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

ブラウザメニューを利用する

1 待受画面で

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2

ホームページ	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
ブックマーク	登録したブックマークの利用・管理をします。
auお客さまサポート	auお客さまサポートのホームページを表示します。
URL入力・Web検索	URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。
履歴	閲覧履歴を表示します。
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	ブラウザの設定を変更します。

タッチクルーザーEXで操作する

タッチクルーザーEXの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。タッチクルーザーEXについて詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.34)をご参照ください。

- ブラウザを起動すると、自動的にタッチクルーザーEXが有効になります。

1 タッチクルーザーEXを使って操作する

タップ:項目を選択したり、決定します。
フリック:画面をロングタッチして「✣」を表示した状態で、画面を上下にスクロールします。
ダブルタップ:画像を拡大／縮小します。

◎ ブラウザを利用中に✣キーが動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
  強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した静止画／動画が白っぽくなる場合があります。
- 動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
  また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 被写体がメインディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすいしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- 撮影モードの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

・電池残量が(残量約10%)以下の場合は、カメラを起動できません。
・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
　・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
　・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
　・他のアプリケーションを起動している場合

静止画／動画を撮影する

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。
カメラを起動するとタッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作について詳しくは、「タッチクルーザーEXを利用する」(▶P.34)をご参照ください。

■ 静止画を撮影する

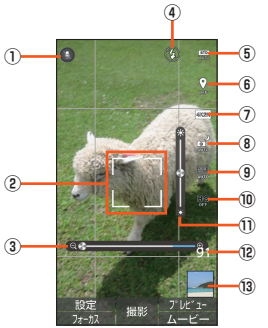
1 待受画面で

静止画撮影画面が表示されます。
:ズームアウト／ズームイン
:明るさの調整
(設定):カメラの設定メニューを表示
(プレビュー):撮影した静止画を表示
(フォーカス):フォーカスをロック
(ムービー):動画撮影に切替
:画面アイコンの表示／非表示切替

2 (撮影)／

撮影し、静止画を保存します。

■ 静止画撮影画面の見かた



《静止画撮影画面》

① **音声認識**
② **フォーカスマーク**
「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。ポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。
③ **ズーム**
④ **モバイルライト**
⑤ **撮影モード**
⑥ **自動位置情報付加**
⑦ **撮影サイズ**
⑧ NightCatch

⑨ HDR
⑩ HQモード
⑪ 明るさ調整
⑫ 撮影可能枚数
残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。
⑬ ミニプレビュー
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を再生します。

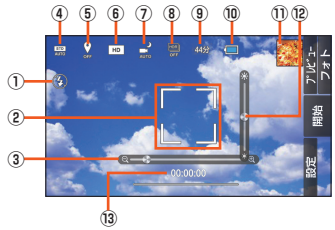
■ 動画を撮影する

1 待受画面で[カメラ](長押し)
動画撮影画面が表示されます。
:明るさの調整
:ズームイン／ズームアウト
[設定](設定):カメラの設定メニューを表示
プレビュー:撮影した動画を再生
[フォト](フォト):静止画撮影に切替
[×]:画面アイコンの表示／非表示切替

2 ●(開始)／[シャッター/マナー]
動画の撮影を開始します。
• 動画撮影中に[カメラ](撮影)を押すと静止画を撮影できます。

3 ●(停止)／[シャッター/マナー]
動画撮影を終了し、動画を保存します。

■ 動画撮影画面の見かた



《動画撮影画面》

① モバイルライト
② フォーカスマーク
③ ズーム
④ 撮影モード
⑤ 自動位置情報付加
⑥ 撮影サイズ
⑦ NightCatch
⑧ HDR
⑨ 撮影残時間
⑩ 電池残量
⑪ ミニプレビュー
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。
⑫ 明るさ調整
⑬ 撮影時間

◎ タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

ワンセグについて

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信できます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ テレビアンテナについて

本製品にはテレビアンテナが内蔵されています。

■ 電池残量による動作

電池残量が(残量約10%)未満になるとテレビを起動できません。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するチャンネルリストを設定します。設定が完了すると、テレビ番組を見ることができます。

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]
使用許諾画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 [地域を選んで作成]
地域が特定できない場合は、「チャンネルを探して作成」を選択して画面の指示に従って操作してください。

3 地方を選択→●

4 都道府県を選択→●

5 地域を選択→●
放送局の検索が開始されます。

6 チャンネルリストを確認→📷(完了)

テレビ番組を見る

テレビ番組を視聴する

1 待受画面で●→[ツール]→[TV(ワンセグ)]
📷(データ操作／テレビ操作):データ操作モード／テレビ視聴モードの切り替え
🔄(画面回転):画面表示を縦画面／横画面に切り替え

■ テレビ視聴モードでのキー操作について

テレビ視聴モードではチャンネルの切り替えや音量の調整ができます。
↕※1※2／📱※2／📱※2:音量調節(15段階の音量または消音)
↔※1:チャンネルの切り替え、長押しでチャンネルサーチ
0～9、＊、＃:チャンネルの切り替え
📞:終了
※1 画面の表示方法によって操作が異なります。
※2 Bluetooth®接続中はBluetooth®リモコンから音量の調節が可能となります。
ただし、Bluetooth®機器によっては音量の調節ができない場合があります。

■ データ操作モードでのキー操作について

データ操作モードでは情報表示エリアの情報(データ放送)を利用できます。
↕:カーソル移動、スクロール
0～9、＊、＃:コンテンツで割り当てられた項目を選択
●:項目を選択
クリア:データ放送の1つ前のページに戻る

◎ テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ テレビ起動中はカメラを使用できません。
◎ データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

■ テレビ画面の見かた

《テレビ視聴画面》

① **番組情報**
番組タイトルや放送局名などを表示します。
② **映像**
③ **字幕**
字幕表示を有効にすると、字幕欄に字幕が表示されます。
④ **情報表示エリア**
⑤ **音量**

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

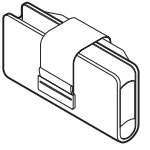
1 待受画面で◉→[設定]

項目	概要
壁紙･ディスプレイ	壁紙や画面の明るさの設定、文字フォントの切替などを行います。
サウンド･ランプ	マナーモードの設定や着信時の音量や音などを変更できます。
au ID 設定	au IDを設定します。
ロック･セキュリティ	端末のロックやセキュリティ、シークレットモードについて設定します。
省エネ･電池	省エネモード設定や電池利用状況の確認ができます。
Wi-Fi	Wi-Fi®について設定します。
Bluetooth	Bluetooth®について設定します。
通信･ネットワーク	機内モード、テザリング、およびVPNなどネットワークについて設定します。
データ引継･リセット	データの引継や初期化を行います。
その他	日付と時刻、言語選択、およびスクリーンセーバーなどを設定します。

周辺機器のご紹介

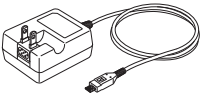
■ **電池パック(SHF31UAA)(別売)**

■ **auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)**
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

■ **共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)**
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)



共通ACアダプタ05

・お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

■ **共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)**

■ **ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)**

■ **卓上ホルダ(SHF31PUA)(別売)**

■ **microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)**
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

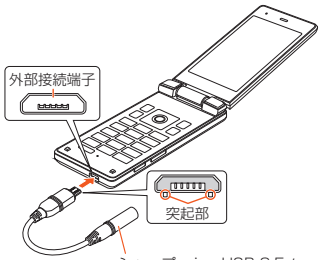
■ **シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01(SHX11QVA)(別売)**

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎ 本製品は、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
http://auonlineshop.kddi.com/

スイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを使用する

本製品に「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01（別売）」を接続してイヤホンを使用できます。

1 本製品の外部接続端子にシャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01（別売）のmicroUSBプラグを、向きを確認して矢印の方向に差し込む



2 シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01（別売）のイヤホン端子にスイッチ付イヤホンマイク／イヤホンマイク／イヤホンを差し込む

■ スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

通話を終了するには、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを再度押します。

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。
◎ 動作確認済みの3.5φプラグのスイッチ付イヤホンマイク（市販品）については、次のサポートページをご参照ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/a/shf32/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	• (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？（▶P.37） • 十分に充電されていますか？
電話がかけられない	• au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.34） • 電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）（▶P.48） • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.37） • 電源は入っていますか？ • 電話番号入力後、[ ]を押していますか？（▶P.48）
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.37） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.37） • 「機内モード」が設定されていませんか？（▶P.37） • 電源は入っていますか？ • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.34）
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	• 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？（▶P.37） • テレビアンテナ付近を手でおおっていませんか？（▶P.33）
カメラが動作しない	• 電池残量が少なくなっていませんか？（▶P.37） • カメラの利用についてご確認ください。（▶P.67）
キーの操作ができない	• 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか？

こんなときは	ご確認ください
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	• [ ]を8秒以上長押しし、バイブレータが振動した後、手を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。
電源が勝手に切れる	• 電池が切れていませんか？
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	• 電池が切れていませんか？
(圏外)が表示される	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.37） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.37） • 内蔵アンテナ付近を手でおおっていませんか？（▶P.33） • au Nano IC Card 04が挿入されていますか？（▶P.34）
「充電してください」などと表示された	• 電池残量がほとんどありません。（▶P.37）
電話が勝手に応答する	• 伝言メモが設定されていませんか？（▶P.37） • マナーモードが設定されていませんか？（▶P.37） • オートアンサーが設定されていませんか？
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	• 電波は十分に届いていますか？（▶P.37） • サービスエリア外にいませんか？（▶P.37） • 回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で◉→[設定]→[その他]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]

2

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。◉(実行)を押すと確認を開始します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードできます。 • すぐに更新する場合は、◉(実行)を押し、画面に従って操作してください。 • 後で更新する場合は、「後で実行」を選択すると「24時間後に再表示します」と表示されます。「OK」を押すとアプリケーションが終了し、ステータスバーに が表示されます。ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーから「ソフトウェア更新」を選択後、画面に従って操作してください。 • ソフトウェア更新が可能な場合には、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。
更新通知設定	ソフトウェア更新が必要かどうかの通知を切り替える設定となります。 •「ON」に設定すると、ダウンロードするソフトウェア更新の内容が表示されます。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、SHF32をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHF32をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新を実行すると、更新前と更新後に本製品を再起動します。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗することがあります。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(電話帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- 国際ローミング中は、Wi-Fi®接続時にのみ、ソフトウェア更新の機能を利用できます。Wi-Fi®に接続していない状態では、ソフトウェア更新の機能を利用することはできませんので、ソフトウェア更新を行う場合はWi-Fi®に接続してご利用ください。

ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください

- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには

あらかじめ設定をしていない場合でも、お客さまセンターへ電話をすることで、遠隔操作で画面やおサイフケータイ®のロックなどをかけることができます。
安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■ お客さまセンターに電話して遠隔ロックをかける／解除する

一般電話からは　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　局番なしの113（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）
・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

◎ 詳しくは、「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。「取扱説明書 詳細版」はauホームページからダウンロードできます。

ケータイ探せて安心サービスを利用する

ケータイ探せて安心サービスをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客様に代わってau電話のおおよその位置を検索できます。
本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置測定設定が「許可する」に設定されています。

◎ 詳しくは、「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。「取扱説明書 詳細版」はauホームページからダウンロードできます。
◎ お客さまセンターの操作により本製品の位置を検索した場合、その旨のメッセージが画面に表示されます。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるとき

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSHF32本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）

一般電話からは　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　局番なしの113（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは
0120-925-919（通話料無料）
受付時間　9:00～21:00（年中無休）

オンライン修理受付（24時間受付）

※本製品、パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラスLTE会員	安心ケータイサポートプラスLTE非会員
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：1年目）	無料	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（自然故障：2年目以降）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
交換用携帯電話機お届けサービス（部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	補償なし
預かり修理（自然故障：1年目）	無料	無料
預かり修理（自然故障：2年目以降）	無料（3年保証）	実費負担
預かり修理（部分破損）	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
預かり修理（水濡れ、全損）	お客様負担額 10,000円	実費負担
預かり修理（盗難、紛失）	補償なし	補償なし （機種変更対応）

※金額はすべて税抜

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品の電池パックを含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、待受画面で◉→[設定]→[その他]→[端末情報]→[端末の状態]→[SIMカードの状態]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

主な仕様

メインディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT、960×540(QHD)
サブディスプレイ	約0.9インチ、1色、有機ELディスプレイ
質量	約128g(電池パック含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約51mm×113mm×16.9mm(最厚部約17.4mm)
メモリ(内蔵)	ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間(国内)	約660分
連続通話時間(海外(GSM))	約390分
連続待受時間(国内)	約430時間
連続待受時間(海外(GSM))	約610時間
連続テザリング時間	約280分
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台
充電時間	共通ACアダプタ05(別売)使用時:約110分 共通DCアダプタ03(別売)使用時:約180分
連続ワンセグ視聴時間※1	約6時間20分
撮影素子	CMOSイメージセンサー
有効画素数	約1,310万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.4.0 出力:Bluetooth®標準規格Power Class1 通信距離※2:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル※3: HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP※4、HID、PAN、PAN NAP、PAN U、SCMS-T、HOGP※5、DUN※6、Bluetooth LE GATT 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	無線LAN(Wi-Fi®)機能:IEEE802.11b/g/n(2.4GHz)準拠
インターフェース	microUSB端子

※1 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※4 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。
※5 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHF32】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.410W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.439W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○ シャープのホームページ:
http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

CE Declaration of Conformity

CE0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SHF32 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.
Be especially careful not to shoot small children from a very close distance.
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 125 mV.

Stand-by Mark

⏻: This symbol means the stand-by on/off.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.370 W/kg※ and when worn on the body is 0.543 W/kg※.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the Device info & the Authentication under the Setting menu.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHF32
FCC ID	APYHRO00224
At the Ear	0.48 W/kg
On the Body	1.18 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
  FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google™ 検索およびGoogle 検索 ロゴは、Google Inc.の商標です。
- 「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。
- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの ***AmiVoice***® を使用しています。

- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 「NightCatch／ナイトキャッチ」「翻訳ファインダー」「AQUOS／アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS K」「SHSHOW」ロゴ「フレーミングアドバイザー／FramingAdviser」「パスナウ／PASSNOW」「タッチクルーザーEX」「ベールビュー／VeilView」「LCフォント／LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2015 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  「モリサワ」「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標または商標です。
- Portions Copyright ©2004 Intel Corporation
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で◉→［設定］→［その他］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

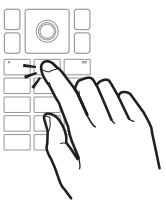
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

タッチクルーザーEXの操作について

タッチエリア

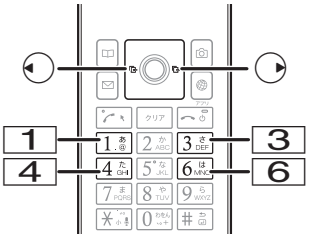
- タッチエリアに指で触れることでタッチパッドのように操作できます。
- タッチクルーザーEXに対応した機能（アプリ）を起動すると、タッチクルーザーEXが有効になり、「▶」（ポインタ）が表示されます。
- [↩]を長押しするごとにタッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えられます。タッチクルーザーEXを無効にしたまま機能（アプリ）を終了すると、再度タッチクルーザーEXに対応した機能（アプリ）を起動してもタッチクルーザーEXは有効になりません。

タップ／ダブルタップ		ロングタッチ	
	タッチエリアに軽く触れて、すぐに指を離します。 また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。		タッチエリアに軽く触れて、指を離さない状態を保ちます。 「▶」の表示が「✥」に変わります。タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと「▶」に戻ります。
スライド		**フリック**	
	タッチエリアをロングタッチして「▶」を「✥」にします。 タッチエリアに指を軽く触れたまま目的の方向や位置へなぞります。		タッチエリアをロングタッチして「▶」を「✥」にします。 タッチエリア上で指をすばやく上下左右にはらうように操作します。
ピンチ			
	2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。		

本製品の待受画面で●→「ツール」→「タッチクルーザーEX操作ガイド」より、操作ガイドを確認することができます。

→裏面もお読みください

ブラウザ画面／文字の拡大・縮小について



画面の拡大・縮小

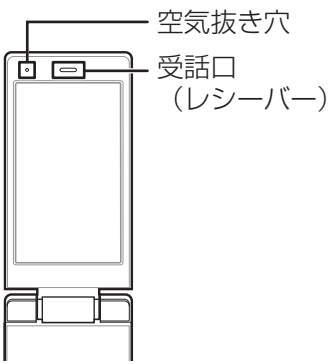
1（縮小）、3（拡大）を押すことで、画面の拡大・縮小ができます。

文字の拡大・縮小

4（文字縮小）、6（文字拡大）を押すことで、文字の拡大・縮小ができます。

- 画面や文字を拡大・縮小した後は、◀や▶で倍率を変えることができます。
- 一部のWebページでは利用できない場合があります。

液晶保護フィルムの貼り付けについて



受話口（レシーバー）、空気抜き穴がある部分は、液晶保護フィルムなどでふさがないでください。通話音量が小さくなることがあります。

液晶保護フィルム貼り付け後、受話口（レシーバー）、空気抜き穴をフィルムでふさいでいないことを確認してください。

2015年6月第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社

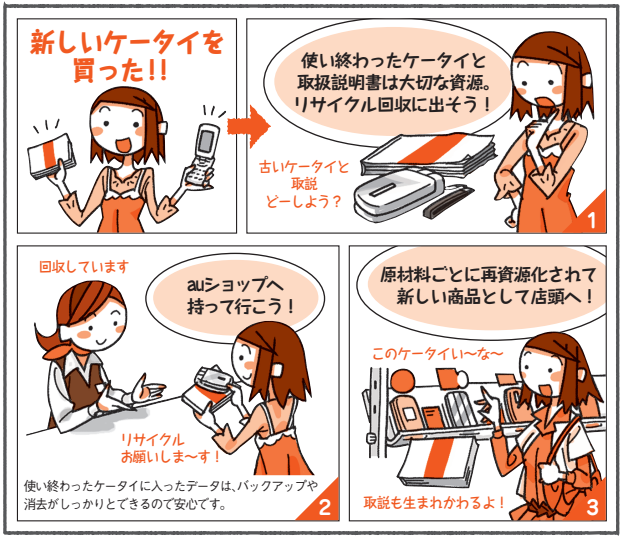
ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone .

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

一般電話／au電話から

0120-925-919

キケン！
水ぬれ充電

VEGETABLE OIL INK

この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず♲マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2015年6月第1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
TINSJB128AFZZ